沖縄県の環境

沖縄県の地理的優位性

アジア主要都市の多くが4時間圏内にあり、東アジアの中心に位置する。



出所:沖縄県アジア経済戦略構想

【2017年 空港別貨物取扱量順位】

順位	空港	貨物量(t)		
川貝111		年間	日平均	
1	成田国際	2,299,537	6,301	
2	東京国際	1,284,681	3,520	
3	関西国際	834,485	2,287	
4	那覇	420,837	1,153	
5	福岡	260,069	713	
6	新千歳	203,968	559	
7	中部国際	200,513	550	
8	大阪国際	132,883	365	
9	鹿児島	29,605	82	
10	新石垣	19,773	55	

出所:国土交通省「空港管理状況調書」

沖縄県のすがた

人口増減率

(出位:0/)

		(単位:%)
順位	都道府県名	増減率
1	東京都	7.2
2	沖縄県	3.1
3	埼玉県	2.8
4	神奈川県	2.0
5	愛知県	1.6
6	千葉県	1.4
7	福岡県	0.1
8	滋賀県	-0.1
9	大阪府	-1.2
10	京都府	-2.4
	全国平均	-2.1

出所:総務省統計局 人口推計

年少人口指数

(単位:%)

順位	都道府県名	指数
1	沖縄県	27.8
2	宮崎県	24.4
3	佐賀県	24.1
4	鹿児島県	24.1
5	熊本県	23.9
6	滋賀県	23.1
7	長崎県	23.0
8	島根県	22.9
9	鳥取県	22.7
10	福井県	22.4
	全国平均	20.4

出所:総務省統計局 人口推計

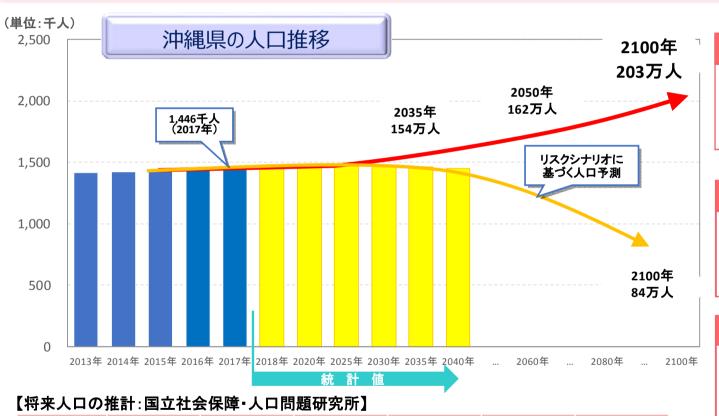
ホテル客室数

		(単位:室)
順位	都道府県名	客室数
1	東京都	110,641
2	大阪府	71,193
3	北海道	66,817
4	福岡県	42,470
5	沖縄県	35,823
6	千葉県	33,706
7	神奈川県	32,600
8	静岡県	29,752
9	兵庫県	29,578
10	愛知県	28,769
	全国合計	907,500

出所:厚生労働省 衛生行政報告例

沖縄県の人口(将来展望)

2030年以降減少に転じることが予想される 増加基調にある現段階から積極的な人口増加施策を展開



単位:千人	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
沖 縄	1,434	1,460	1,468	1,470	1,466	1,452
全 国	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919

自然増拡大の取組み

安心して結婚・出産・子育てができる社会

- □ 待機児童の解消
- □ 健康長寿おきなわの推進

社会増拡大の取組み

社会に関かれた活力ある社会

- □ 雇用創出と多様な人材確保
- □ 交流人口の拡大

離島・過疎地域の振興に関する取組み

バランスのとれた持続的な人口増加社会

- □ 定住条件の整備
- □ 特色を活かした産業振興

観光客数の推移

2018年度は過去最高の入域観光客数999万人 外国人観光客は300万人(前年度比+11.5%)過去最高更新

入域観光客数と観光収入の推移 (人) (百万円) 12.000.000 2019年度計画 1,000,000 1.015万人 2021年度計画 10,000,000 1,000万人⇒1,200万人 上方修正 800,000 8,000,000 2021年度計画 600,000 1.200万人 6,000,000 400,000 4,000,000 2018年度 入域観光客数999万人 (前年度比42万人增) 200,000 2,000,000 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 · · · 2021 · · · 国内客 **—** 外国人客 ━観光収入 (出所)沖縄県「観光要覧」



首里城公園 入場者数285万人

観光客数の推移(空港)

那覇空港の着陸回数は、83,249回 全国の空港においても5位、那覇空港第2滑走路の供用開始により増加を見込む

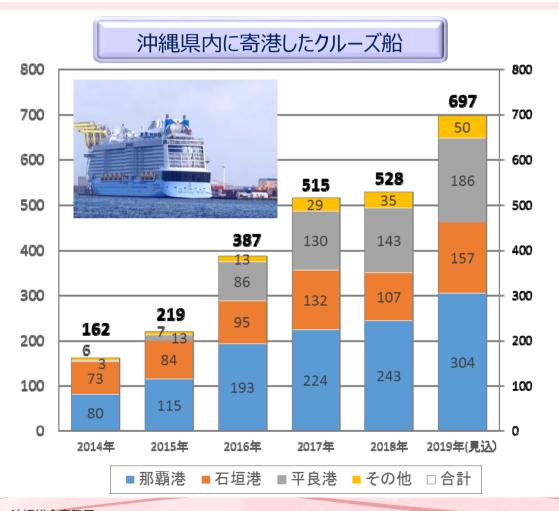


着陸回数(国際+国内)

順位	空港名	着陸回数
1	東京国際	226,563
2	成田国際	126,470
3	関西国際	92,588
4	福岡	89,094
5	那覇	83,249
6	新千歳	75,310
7	大阪国際	69,228
8	中部国際	50,646
9	鹿児島	33,421
10	仙台	25,768

観光客数の推移(港)

寄港したクルーズ船は過去最高更新。今年も697回と過去最高を上回る予定 都道府県では全国1位



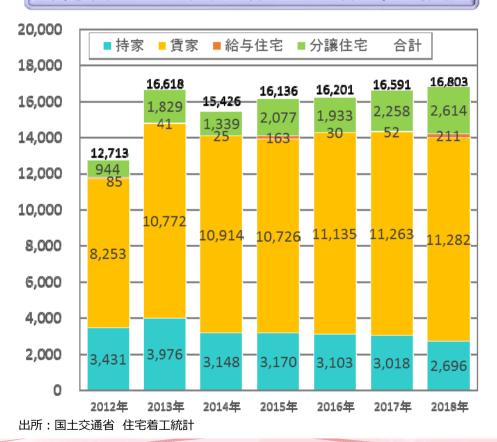
クルーズ船寄港回数

順位	港湾名	回数
1	博多港	279
2	那覇港	243
3	長崎港	220
4	横浜港	168
5	平良港	143
6	神戸港	135
7	ベラビスタマリーナ(広島)	122
8	佐世保港	108
9	石垣港	107
10	鹿児島港	100

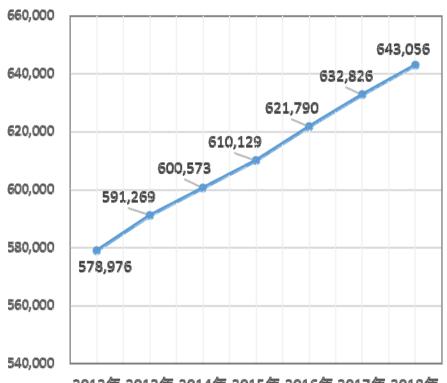
沖縄県の住宅市場動向

- ・県内の住宅市場は活況が続いている
- ・2015年国勢調査で人口・世帯数ともに増加率で全国トップ

沖縄県住宅着工戸数 (利用者関係別) の推移



沖縄県の総世帯数の推移



2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年

出所:沖縄県 企画部市町村課

沖縄県内の経済動向①

日銀短観



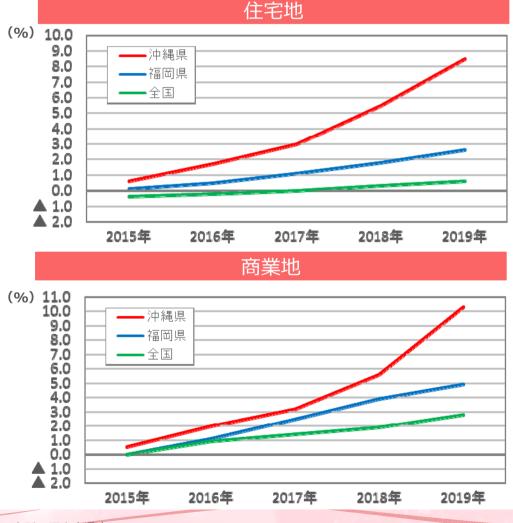
出所:日本銀行 那覇支店

概況

- ◆県内景気は、全体として拡大している。
- ◆個人消費は県内人口の増加、観光需要、県内の雇用・所得環境の改善を背景に堅調に推移している
- ◆**観光**をみると、好調に推移しており、入域観光客数は、国内客、外国客ともに前年を上回った
- ◆ **建設関連**をみると、底堅く推移している。設備投資は増加基調であり、住宅投資は高水準で推移している
- ◆雇用・所得情勢をみると、改善している。

沖縄県内の経済動向②

地価公示



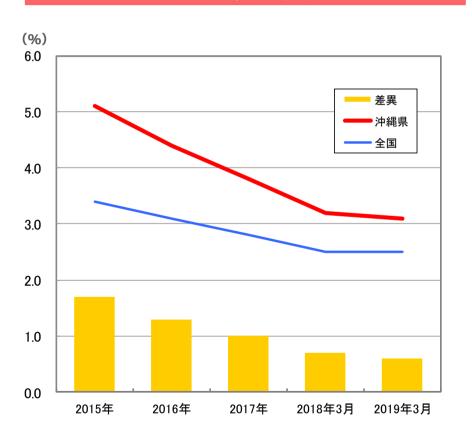
概況

- ◆ 住宅地の県平均は、昨年の+5.5%から+8.5% となり、引き続き上昇基調にある。人口の増加や県 内景気の拡大等に伴う宅地需要が高まる。特に那 覇市を中心として、新都心地区やその新都心地区 に隣接する真嘉比地区など土地区画整理事業地 の土地は利便性が高く、環境条件が良好であるた め、非常に人気が高く、空地が少なくなっているため、 希少性が出ている
- ◆ <u>商業地の県平均は、昨年の+5.6%から</u> +10.3%となり、引き続き上昇基調にある。入域 観光客数の増加を背景に新規ホテルがオープンし ていることや新規再開発などもみられ、中心市街 地等の需要の高まりが地価上昇の要因

沖縄県内の経済動向3

雇用状況

完全失業率の推移



概況

◆かつて全国の2倍程度あった失業率も全国水準 に近づいてきている。

有効求人倍率数

